

第3回 介護・医療連携推進会議 議事録

○事業所情報

法人名：有限会社伊賀家政婦紹介所

事業所名：さくらんぼ

○開催日時・場所

日時：令和6年2月26日（月）14:30～15:30

場所：中瀬地区市民センター 会議室

○参加者

- ・民生委員 K 様
- ・伊賀市介護高齢福祉課 H 様
- ・伊賀市医療福祉政策課 Y 様
- ・伊賀市地域包括支援センター N 様
- ・伊賀市地域包括支援センター東部サテライト F 様
- ・さくらんぼ 松浦、瀬川、勝矢

○議事

- 1、出席者紹介
- 2、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護サービスの概要
- 3、事例紹介
- 4、活動報告
- 5、外部評価表について集計結果報告
- 6、質疑応答、当事業所への要望

議事詳細

2、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護サービスの概要

- ・現在、訪問看護サービスは、外部事業所へ委託する「連携型」を選択している。委託した場合は、委託料として、訪問看護事業所へ1件あたり5,500円/月を支払っている
- ・夜間対応型訪問介護は、18:00～翌朝8:00の間のサービスで、基本料金+訪問料金が発生する。基本料金は、サービスが全くない月でも発生し、訪問料金は、1回につき発生する。夜間対応型訪問介護は、限度額がすぐに超えてしまい、利用者負担金が高額になる傾向がある。

3、事例紹介

- ・日中は独居。息子夫婦は仕事のため19:00以降に帰宅。股関節脱臼のため歩行はできずリハビリ効果は、期待できないとの事。1日3回、毎日訪問。主にオムツ交換、食事配膳、服薬確認を行っている。滞在時間は30分程度。毎日の足の指の傷の処置のため訪問看護サービスが週3回訪問している
- ・他2事例は、時間の都合で資料配布のみ

4、活動報告

- ・直近1年間の利用者数推移。ヘルパー訪問を必要としている方の受け皿として、訪問介護、家事代行サービス、夜間対応型訪問介護、介護タクシー、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を窓口としている中で、全体の件数は、増えてきている。その中で定期巡回は、急激に増えることは無いが、月1件ずつのペースで増えている。夜間対応型訪問介護は、全く無し。
- ・随時コールの件数、随時訪問の回数は、月当たり10回もない。その中でも、ケアコール随時訪問を必要とする方は、限定的で、ほとんどの方は利用が無い。利用する方は時間帯のパターンが決まっている傾向がある。多いのは20:00～24:00の間。
- ・随時コールの主な内容は、床に座り込んだので起こしてほしい、という依頼が多い
- ・訪問看護業務委託件数は、直近1年間は、先月に1件で、それまでは0件
- ・現在の介護職員数は、訪問介護と兼務で、男性9名、女性21名 合計30名 介護福祉士所持者19名 従来のパート職員を可能であれば正社員化し、常勤割合を増やしている。直行直帰型の登録型を減らして行っている。令和6年2月1日から、名張市東田原に訪問介護事業所を開設

5、外部評価表について集計結果報告

- ・理念をかかげているか？

→HP に全体としての営業理念に加え、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの理念も掲載している。わかりやすく表示する

- ・研修した結果、身につけているのか振り返る取り組みがあるか？

→評価する仕組みを新たに構築する

- ・外部の訪問看護事業所と定期的なミーティングの機会を設け、利用者の情報共有に努めているか？

→制度や報酬面で、協力が得られない事がある。訪問看護事業所にとっても、連携することで月額報酬が定額になってしまう。リハビリ訪問が無いケースでは、協力を得られる可能性がある。

職員全体で積極的にコミュニケーションを図り、サービス担当者会議等に参加する。スケジュール調整が難しく定期的なミーティングが難しい場合でも、日々の訪問状況の記録を事業所内で閲覧できるよう、業務管理ソフトの設定をする。

- ・利用者の不利益にならないような人員配置が出来ているか？

→定期的な研修・スキルアップ向上と、余裕のある人員を配置する為に積極的に職員採用に努める

- ・介護・医療連携推進会議の適時の開催ができているか？

→おおむね6か月に1回、開催し、事業所の情報を公開する

- ・利用者への十分な情報提供が出来ているか？

→パンフレット、資料を使って納得のいく説明をする

- ・必要に応じて多職種による検討が行われているか？

→職員全体で積極的にサービス担当者会議・カンファレンスに参加し、情報交換を図る

- ・介護医療連携推進会議の記録、サービス内容の情報発信、広報活動ができているか？

→ホームページに議事録を掲載する。広報の担当者を決め、SNS や広報用パンフレット等の作成、定期的に他事業所への周知活動を行う。

- ・地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解が出来ているか？

→伊賀市 HP の関係資料の把握に努める

- ・利用者ごとの計画目標の達成が図られているか？

→目標に対する評価欄に、目標達成状況を記入する

- ・利用者からの在宅生活継続に対する安心感が得られているか？

→ケアマネージャーや利用者へアンケート等で、サービスに対する満足度を聞き取る